

第7 母子保健事業

第 7 母 子 保 健 事 業

育児に対する不安が強く、育児に不慣れな保護者が増えている現状において、保護者との信頼関係を築くことがその後の支援にとっても重要になる。そのため、保護者との出会いの場を大切にするとともに、切れ目のない支援をすることで信頼関係を構築する。

また、平成30年9月に妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援の拠点として、子育て世代包括支援センターが開設された。関係機関と連携し、子育てに関するあらゆる相談に応じることで、親子を支援する。

- (1) 母子健康手帳を「親子健康手帳」と称し、父親と母親の双方が子育てに参加できるよう促す。また、妊婦との最初のお会いである親子健康手帳（母子健康手帳）交付時にアンケートを実施し、個々の状況に応じた相談支援を行うことで、信頼関係の構築を図る。
- (2) 些細な疑問でも気軽に相談できる体制を周知し、育児の孤立化を防ぐ。
- (3) 妊娠中の食生活が母体の健康維持や胎児の成長に与える影響について周知し、母子ともに健康に出産できるよう支援する。
- (4) 妊娠中からお口の健康に関して意識できるよう支援する。また、乳幼児健診の機会をとらえて母親の歯科健診を実施する。
- (5) 乳幼児健診での保護者との出会いを大切にして信頼関係を築き、育児に関する問題に対して支援する。また、乳幼児健診にて全ての子どもの発育発達を保護者とともに確認する。
- (6) 保護者が地域の中で安心して子育てができるよう支援する。
- (7) 「生と性」に関する知識を親子や地域に普及啓発し、いのちの大切さやありのままの自分が価値のある者であることを認める（自己肯定感）ことで、いきいきと生きる力を高めることができるよう支援する。

1 母子保健事業一覧

《保健センター》

不妊治療等助成事業
不育症治療等助成事業

《子育て世代包括支援センター》

予期せぬ妊娠相談（こまき妊娠SOS）

流産・死産の相談

低所得の妊婦に対する初回産科受診料支援事業

妊娠の届出
親子健康手帳の交付（個別交付）

※保健師・助産師による交付
※支援方針の判定
※個別支援計画の作成/見直し

妊婦健康診査（14回）
※多胎妊婦に対し公費妊婦健康診査5回追加

妊婦個別歯科健康診査（1回）

妊婦8か月時アンケート

産婦健康診査（2回）

新生児聴覚検査・乳児個別健康診査（2回）

新生児電話相談

未熟児訪問

新生児乳児訪問

母乳相談

1stアニバーサリー事業

産後ケア事業

児童館巡回育児相談

利用者支援事業（こども家庭センター型）（対面・電話相談・オンライン相談・訪問）

連携

にこにこむし歯予防教室

個別支援（面接・訪問）・いまねっと（電話相談）

4か月児健康診査
母親歯科健康診査

離乳食教室

1歳6か月児健康診査
歯科健康診査・フッ化物塗布

2歳3か月児歯科健康診査
フッ化物塗布・育児相談

3歳児健康診査
歯科健康診査・フッ化物塗布

5歳児健康診査

歯みがき教室
（対象：保育園・幼稚園・
こども園の小学4年生）

小牧市中学生ピロリ菌検査
（対象：中学2年生）

母子保健推進協議会
・生と性のカリキュラム

運動発達相談

臨床心理士による相談

なかよし教室

おひさまサロン

2 親子健康手帳（母子健康手帳）交付

(1) 目的

ア 親子健康手帳（母子健康手帳）交付の機会をとらえ、父親母親との関係を築き、産前産後の不安がある時に、一人で悩まずに問題解決に向かって行動できる親に成長できるよう支援する。

イ 市独自の親子健康手帳（母子健康手帳）を活用することで、父親母親としての意識を高め「二人で子育て」ができるよう支援する。また、二人で作上げた親子健康手帳（母子健康手帳）により、子どもが「愛され成長してきたこと」を実感し、「命の大切さ、尊さ」を学ぶために、活用してもらえようように働きかける。

ウ 母乳育児の推進に向け支援する。

(2) 交付場所

子育て世代包括支援センター

(3) 交付方法

予約時にアンケートを回答してもらい、交付時に保健師・助産師による面接・相談を実施する。

(4) 発行数

親子健康手帳（母子健康手帳）発行数（多胎児、再交付含む） 946人

	妊娠届出数	妊娠週数					年齢		就業者数	喫煙者数	飲酒者数
		11週以内	12～19週	20～27週	28週以上	不詳	20歳未満	40歳以上			
実数（人）	874	813	42	14	5	0	15	50	693	17	5
率（％）	100	93.0	4.8	1.6	0.6	0.0	1.7	5.7	79.3	1.9	0.6

(5) 外国語母子健康手帳総発行数〔うち（ ）内は再発行分〕

(人)

ポルトガル語	スペイン語	タガログ語	英語	中国語	ハングル語	インドネシア語	タイ語	ネパール語	ベトナム語	計
20 (1)	13 (3)	4 (1)	32 (3)	1 (0)	1 (0)	8 (1)	1 (0)	1 (0)	101 (12)	182 (21)

(6) 親子健康手帳（母子健康手帳）交付時アンケート結果（アンケート回答 946 人）
(人)

第一子	456	今まで赤ちゃんを抱っこした経験あり	388	育児の相談者なし	4
				育児の協力者なし	9
				育児の相談・協力者両方なし	1
				育児の相談・協力者両方あり	374
		今まで赤ちゃんを抱っこした経験なし	66	育児の相談者なし	4
				育児の協力者なし	2
				育児の相談・協力者両方なし	1
				育児の相談・協力者両方あり	59
		未 記 入	2		
第二子以降	490			育児の相談者なし	7
				育児の協力者なし	10
				育児の相談・協力者両方なし	3
				育児の相談・協力者両方あり	469
				未 記 入	1

3 妊婦・産婦・乳児個別健康診査

(1) 目的

妊婦・産婦・乳児の健康保持・増進及び異常の早期発見・早期治療を図る。

(2) 妊婦健康診査実施延人数、妊婦健康診査結果

[医療機関委託分、()内は県外医療機関・助産所での受診分]

(人)

	受診票交付数	受診		受診結果			
		延人数		異常なし		異常あり	
第1回	887	846	(4)	735	(4)	111	(0)
第2回	899	816	(11)	767	(11)	49	(0)
第3回	910	818	(11)	773	(11)	45	(0)
第4回	909	829	(6)	786	(6)	43	(0)
第5回	931	811	(14)	762	(13)	49	(1)
第6回	926	810	(8)	761	(8)	49	(0)
第7回	931	799	(16)	727	(16)	72	(0)
第8回	938	809	(16)	478	(15)	331	(1)
第9回	947	739	(41)	693	(38)	46	(3)
第10回	953	745	(60)	666	(56)	79	(4)
第11回	954	642	(53)	605	(52)	37	(1)
第12回	956	690	(58)	434	(55)	256	(3)
第13回	955	502	(48)	483	(46)	19	(2)
第14回	957	320	(31)	304	(31)	16	(0)
第15回	12	4	(0)	3	(0)	1	(0)
第16回	12	2	(0)	2	(0)	0	(0)
第17回	12	2	(0)	2	(0)	0	(0)
第18回	12	1	(0)	1	(0)	0	(0)
第19回	12	0	(0)	0	(0)	0	(0)
子宮がん検診	882	832	(3)	806	(3)	26	(0)
計	13,995	11,017	(380)	9,788	(365)	1,229	(15)

※ R3.4～ 多胎妊婦に対して、妊婦健康検査受診票 5 回分追加交付 (第15～19回)

(3) 産婦健康診査実施延人数、産婦健康診査結果

[医療機関委託分、()内は県外医療機関での受診分]

(人)

	受診票交付数	受診延人数		受診結果			
				異常なし		異常あり	
第1回	952	764	(56)	672	(50)	92	(6)
第2回	952	716	(46)	670	(45)	46	(1)
計	1,904	1,480	(102)	1,342	(95)	138	(7)

(再掲) 産婦健康診査エジンバラ産後うつ病質問票 (EPDS) 結果
(人)

	①合計9点以上		②自殺念慮・ 自殺企図 1点以上		①かつ②		実施なし	
第1回	38	(5)	9	(0)	15	(1)	11	(5)
第2回	23	(2)	4	(0)	9	(0)	7	(4)
計	61	(7)	13	(0)	24	(1)	18	(9)

(4) 新生児聴覚検査実施延人数、新生児聴覚検査結果
[医療機関委託分、() 内は県外医療機関での受診分]

(人)

	受診票 交付数	受診 延人数		受診結果			
				異常なし		異常あり	
新生児聴覚検査	960	721	(56)	714	(56)	7	(0)

(5) 乳児健康診査実施延人数、乳児健康診査結果
[医療機関委託分、() 内は県外医療機関での受診分]

(人)

	受診票 交付数	受診 延人数		受診結果			
				異常なし		異常あり	
第1回	968	753	(53)	700	(46)	53	(7)
第2回	1,020	659	(2)	615	(2)	44	(0)
計	1,988	1,412	(55)	1,315	(48)	97	(7)

4 健康診査事業

(1) 4か月児健康診査

ア 目 的

育児不安を解消するとともに、今後保健センターが保護者にとって身近な相談機関としての位置づけを確立していく。

また、全身の健康状態、発育・発達、栄養、保育環境等を確認することで、疾病や障がいの早期発見に努め、適切な早期治療や療育を受けることができるように支援する。

イ 対 象

市内在住の4か月児

ウ 実施回数

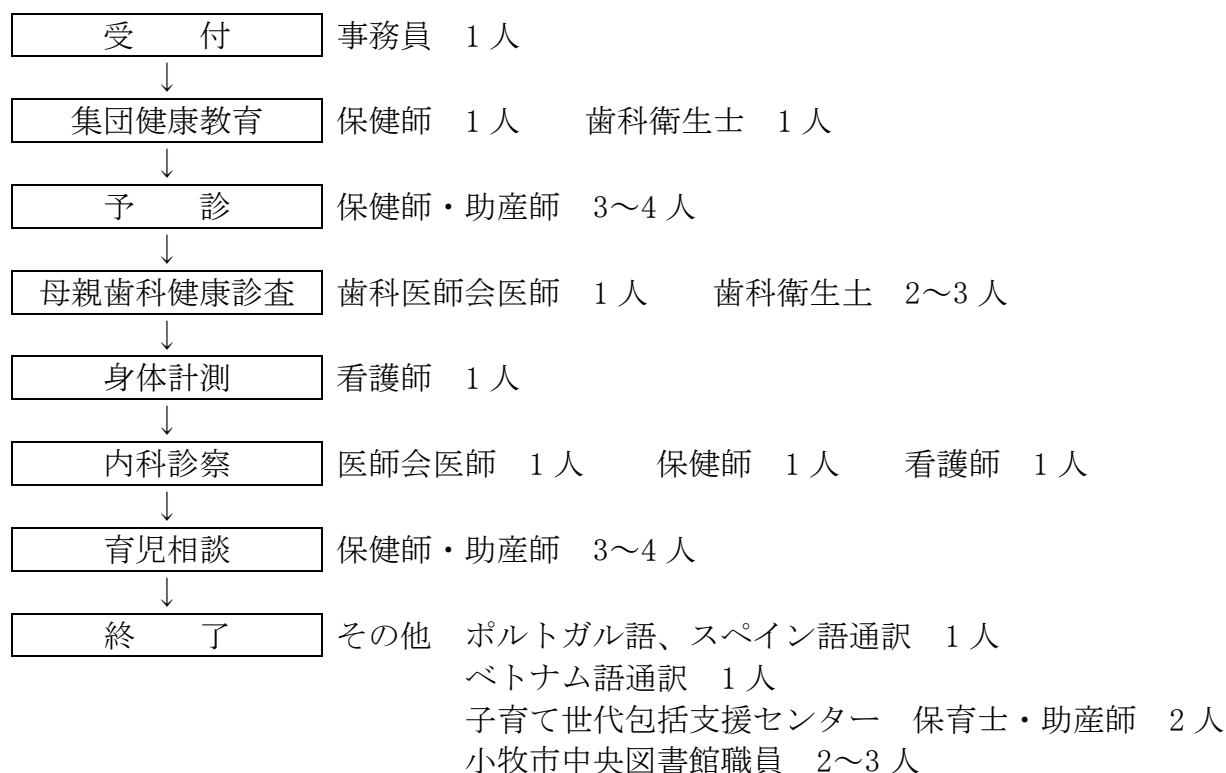
36回

エ 周知方法

個人通知

オ 実施内容

内科診察、身体計測、集団健康教育、育児相談、母親歯科健康診査



カ 結 果

疾病の発見		対象者数	868	男児	444	女児	424
		受診者数	841	男児	431	女児	410
発育		97パーセンタイル超	90パーセンタイル超	90～10パーセンタイル	10パーセンタイル未満	3パーセンタイル未満	
	体重	14	36	693	78	20	
	身長	16	37	729	41	18	
	頭囲	7	19	739	58	18	
	身体発育不良	所見なし	1～2階級	2階級超			
		760	53	28			
		所見なし	所見あり				
神経系	筋緊張	838	3				
	反射	841	0				
運動発達	定額	786	55				
	手の握り（物をつかまない）	839	2				
	姿勢	841	0				
精神発達	笑わない	841	0				
	声が出ない	841	0				
	視線が合わない	839	2				
感覚器	追視	831	10				
	聴覚異常	836	5				
循環器	心音異常	829	12				
消化器	腹部腫瘍	841	0				
泌尿生殖器	そけいヘルニア	839	2				
	停留精巣（男児）	427	4				
	仙骨皮膚洞・腫瘍	836	5				
	外性器異常	838	3				
股関節	股関節開排制限	727	114				
皮膚	血管腫	827	14				
	湿疹	796	45				
	被虐待跡	841	0				

保健指導・支援

授乳		支援不要	自ら対処可能	保健機関継続支援	他機関連携支援
		519	301	21	0
栄養方法		母乳	人工	混合	
	1か月時	242	111	488	
	3～4か月時	275	303	263	
生活習慣	メディアの視聴	いいえ	はい	無記入	
		709	93	39	

(2) 1歳6か月児健康診査

ア 目 的

親と子のかかわりが一番大切な時期をとらえ、今後も親子が心身ともに健康な生活を送ることができるよう支援する。

また、軽度の障がいを見出しやすいこの時期に、見逃さずに適切な支援をしていく。

イ 対 象

市内在住の1歳6か月児

ウ 実施回数

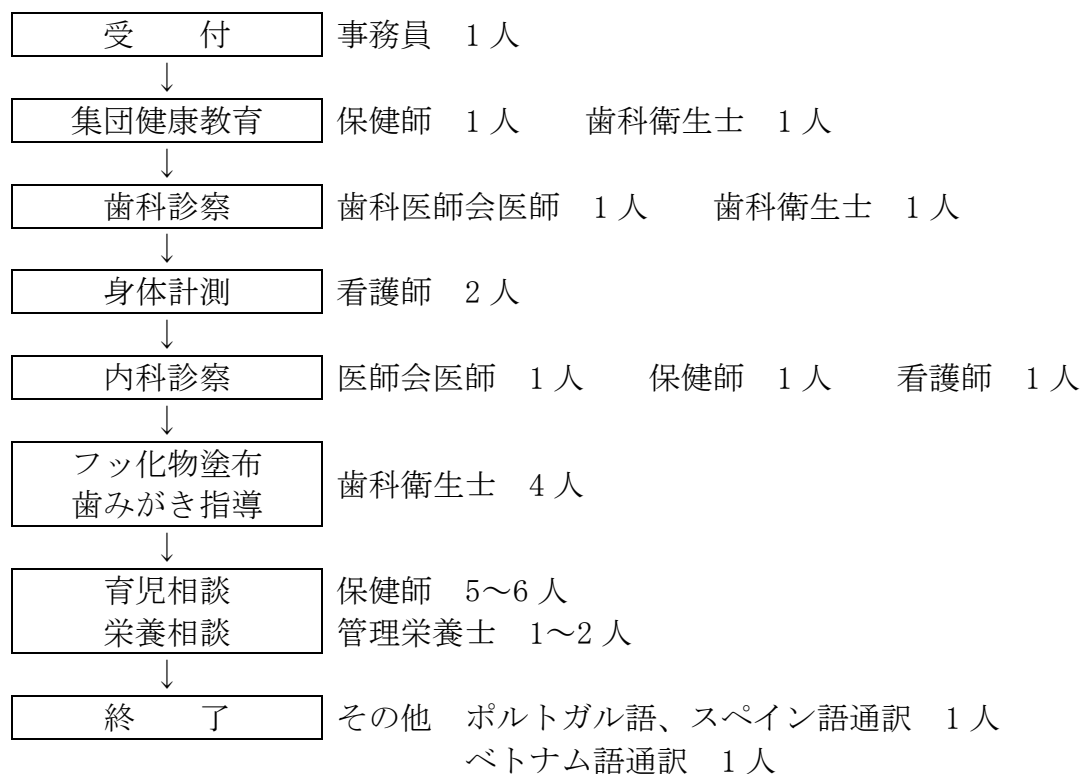
36回

エ 周知方法

個人通知

オ 実施内容

内科診察、歯科診察、身体計測、集団健康教育、成長の確認、育児相談、栄養相談、歯科相談、フッ化物塗布、歯みがき指導



カ 結 果

疾病の発見（医科）	対象者数	922	男児	467	女児	455
	受診者数	887	男児	446	女児	441
発育		97パーセンタイル超	90パーセンタイル超	90～10パーセンタイル	10パーセンタイル未満	3パーセンタイル未満
	体重	49	88	676	52	22
	身長	36	69	706	49	27
		所見なし	1～2階級	2階級超		
	身体発育不良	848	38	1		
運動 発達		所見なし	所見あり			
	歩行の遅れ	858	29			
	胸郭・脊柱の変形	886	1			
	歩容	886	1			
	0脚	887	0			
	手の使い方が未熟	732	155			
精神 発達	発語の遅れ	523	364			
	視線が合わない	549	338			
	指示理解の遅れ	550	337			
	多動	620	267			
感覚器	斜視	886	1			
	聴覚異常	887	0			
消化器	腹部腫瘤	886	1			
	臍ヘルニア	887	0			
泌尿 生殖器	停留精巣（男児）	442	4			
	そけいヘルニア	886	1			
皮膚	アトピー性皮膚炎	882	5			
	被虐待跡	887	0			

保健指導・支援

生活習慣 ・食習慣	朝食	ほぼ毎日食べる	週4～5日食べる	週2～3日食べる	ほとんど食べない	無記入
		840	16	7	9	15
	就寝時間	9時前	9時台	10時台	11時以降	無記入
		393	363	86	16	29
	メディアの視聴	いいえ	はい	無記入		
		566	313	8		

(3) 3歳児健康診査

ア 目 的

発達が著しく心も体も転換期を迎えて、人間としての基本が培われる時期をとらえ、成長を親と確認し、心身ともに健康な生活を送ることができるよう支援する。
また、疾病を早期に発見し、適切な治療をうけることができるよう支援する。

イ 対 象

市内在住の3歳児

ウ 実施回数

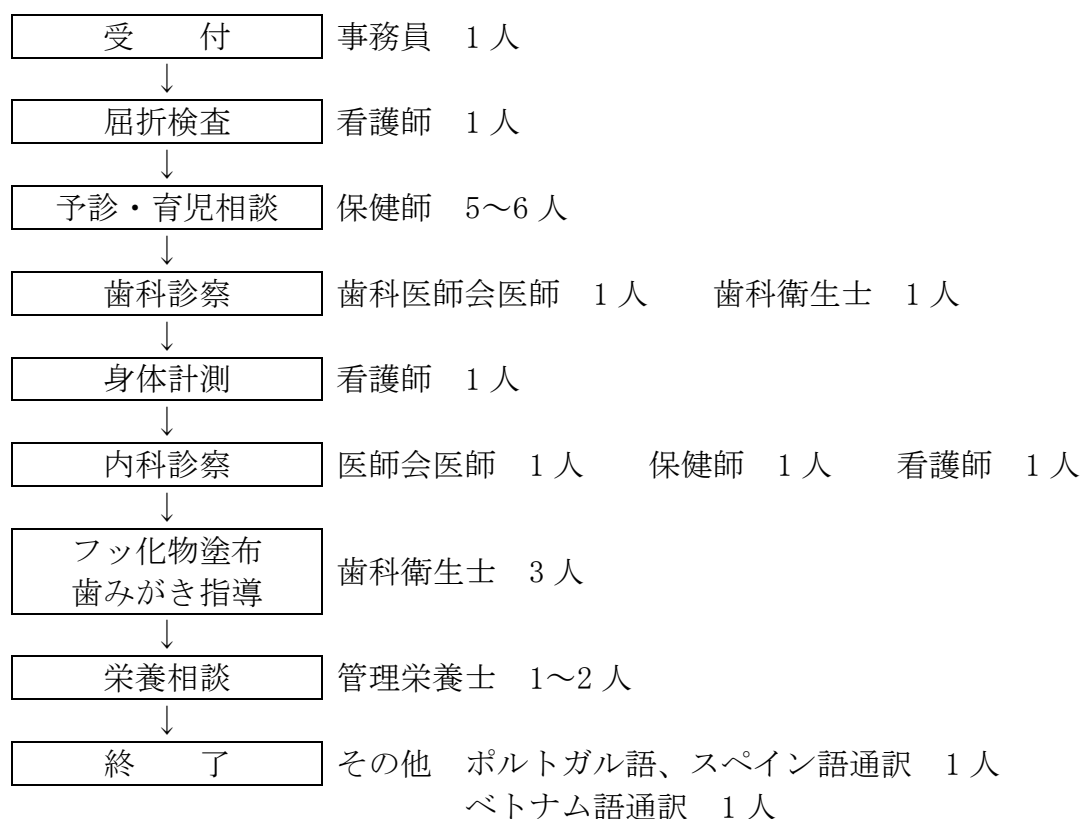
36回

エ 周知方法

個人通知

オ 実施内容

内科診察、歯科診察、身体計測、成長の確認、育児相談、栄養相談、歯科相談、フッ化物塗布、歯みがき指導、屈折検査（スポットビジョンスクリーナー）



カ 結 果

疾病の発見（医科）		対象者数	982	男児	520	女児	462	
		受診者数	963	男児	504	女児	459	
発育		ふとりすぎ	ややふとりすぎ	ふとりぎみ	ふつう	やせ	やせすぎ	無記入
	肥満度	5	19	31	902	1	1	4
		所見なし	10パーセンタイル未満	3パーセンタイル未満	無記入			
	低身長	795	96	68	4			
		所見なし	1～2階級	2階級超				
	身体発育不良	917	46	0				
運動発達		所見なし	所見あり	無記入				
	胸郭・脊柱の変形	963	0	0				
	歩容	963	0	0				
	0脚	963	0	0				
	母指と示指で輪ができない	690	272	1				
精神発達	発語の遅れ	774	186	3				
	視線が合わない	767	195	1				
	指示理解の遅れ	727	236	0				
	多動	660	302	1				
	吃音	954	9	0				
皮膚	アトピー性皮膚炎	956	7	0				
	被虐待跡	963	0	0				
感覚器	視覚検査	異常なし	管理中	異常の疑いあり	無記入			
		509	15	228	211			
	聴覚検査	異常なし	主治医管理	異常の疑い（滲出性中耳炎等）	異常の疑い（難聴等）	無記入		
		722	22	38	120	61		

保健指導・支援

生活習慣 ・食習慣	朝食	ほぼ毎日食べる	週4～5日食べる	週2～3日食べる	ほとんど食べない	無記入
		907	28	14	12	2
	就寝時間	9時前	9時台	10時台	11時以降	無記入
		240	446	228	44	5
	メディアの視聴	いいえ	はい	無記入		
		490	471	2		
	排泄の自立	できる	手伝えばできる	できない	無記入	
		210	398	343	12	

(4) 5歳児健康診査

ア 目 的

言語理解や社会性が高まり、就学に向けて心身の発達が大きく育つ時期をとらえ、成長を親と確認し、心身ともに健やかな生活を送ることができるよう支援する。

イ 対 象

市内在住の5歳児

ウ 実施回数

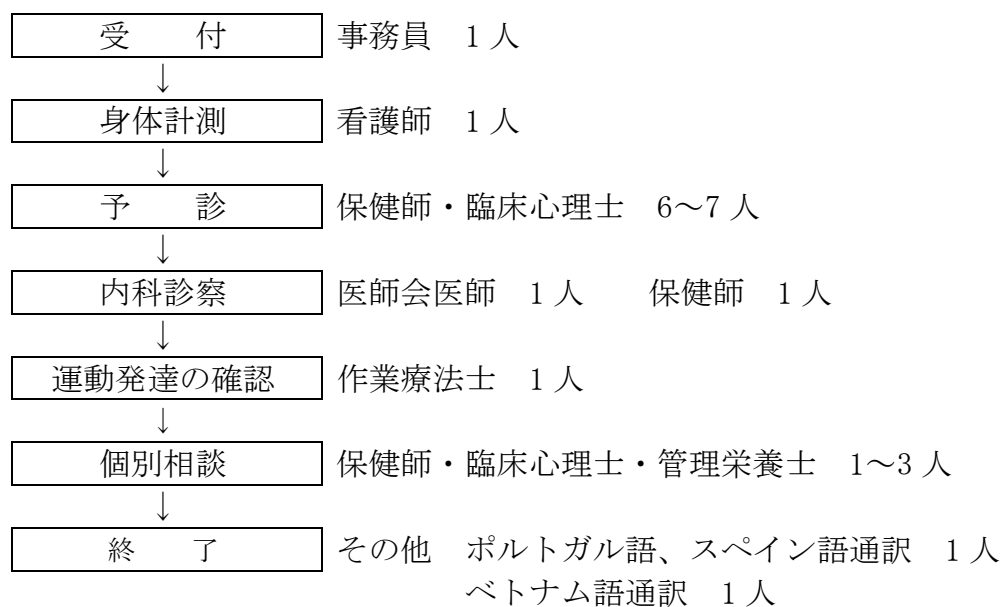
36回

エ 周知方法

個人通知

オ 実施内容

内科診察、身体計測、成長の確認、育児相談



カ 結果

		対象者数	948	男児	493	女児	455
疾病の発見(医科)		受診者数	878	男児	460	女児	418
発育		97パーセント イル超	90パーセント イル超	90～10パーセ ンタイル	10パーセント タイル未満	3パーセント イル未満	無記入
	体重	22	49	712	65	29	1
	身長	20	41	670	93	53	1
		所見なし	所見あり	無記入			
	身体的発育異常	782	95	1			
運動発達	運動機能異常	750	128	0			
精神発達	理解に関する課 題	602	276	0			
	情緒の問題	809	68	1			
	行為の問題	745	133	0			
	多動・不注意	593	285	0			
	仲間関係の問題	618	260	0			
	こどもの遊び(外 遊び)の問題	838	40	0			
感覚器・ その他の 異常	目の異常	821	57	0			
	耳の異常	845	33	0			
	発音不明瞭	710	168	0			
	その他(いびき・ 無呼吸等)	876	2	0			
皮膚	湿疹・アトピー 性皮膚炎・あ ざ・その他	875	3	0			

保健指導・支援

生活習慣・育環境等		所見なし	所見あり	無記入
	食事の問題	598	280	0
	歯みがきの問題	745	133	0
	排便の問題	800	78	0
	メディア視聴の問題	414	464	0
	睡眠に関する問題	698	180	0
	養育環境の問題	607	270	1
	健康の社会的決定要因	642	236	0

(5) 乳幼児健診未受診者支援事業

ア 経緯

近年全国的に、乳幼児健診や小学校・中学校入学をきっかけとして児の所在を把握し、担当課だけではなく横断的に状況を把握したうえで、必要に応じてその後の支援につなぐ重要性が謳われている。

保健センターでも、H24年10月から、家庭における育児力を高めるために必要な支援のひとつとして、乳幼児健診未受診者の支援体制を整備し、健診受診率の向上及び未受診者の支援に力を注いでいる。

イ 事業目的

乳幼児健診未受診者の保護者に対して受診勧奨を行い、未把握者を無くすとともに健診受診率の向上に努める。その過程において、子どもの成長発達を確認し支援するとともに、保護者との関わりを深め信頼関係を築くことで、保護者が育児をする上で抱えている不安や問題の有無を把握して支援し、親子の健全な生活を保障していく。

ウ 未受診者抽出時期及び抽出対象者、支援対象者

(ア) 4か月児健診・1歳6か月児健診・3歳児健診未受診者

対象となる健診日から1回後の健診日までに受診しない者

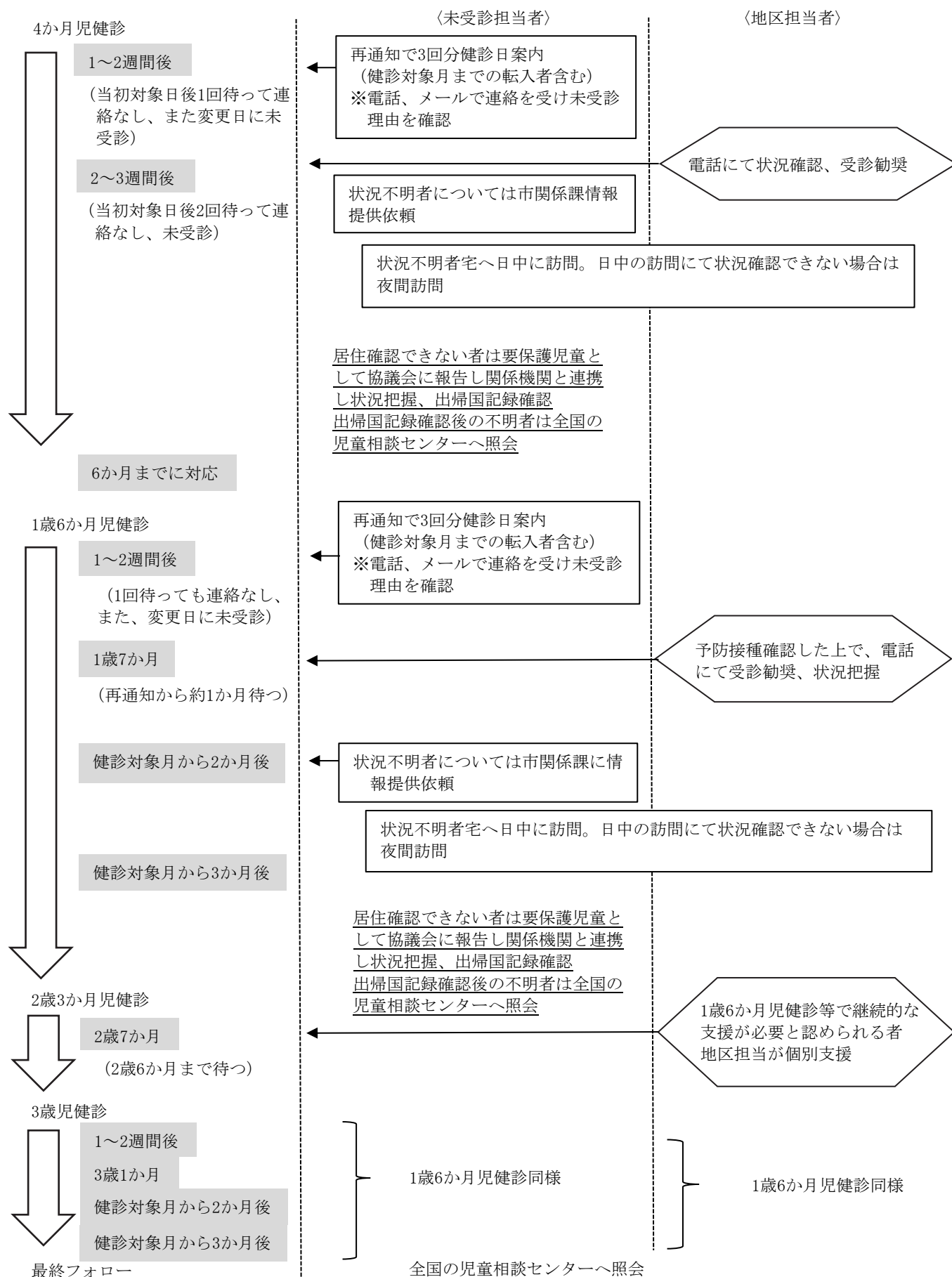
※受診日変更者、他機関受診、転出、海外在住等何らかの理由があつて保護者から連絡がきている者についても、その時点では抽出対象とする。しかし、受診日変更者の中で予定通り受診した者は、その後の支援対象者から除く。

※転入者については、「健診対象者名簿」出力後から健診対象月の末日までを未受診者としての抽出対象とする。

(イ) 2歳3か月児歯科健診未受診者

2歳6か月の健診日までに保護者からの連絡が無い未受診者の中で、1歳6か月児健診等で継続支援が必要と認められる者

エ 乳幼児健診未受診者支援体制



オ 乳幼児健診未受診者支援結果

(ア) 未受診者支援における健診対象者

※健診対象者名簿出力後から健診対象月までに転入した者、及びその後の転入者で転入前の市町村において健診を受けていない者、住民基本台帳にて職権消除されたものを含む

a 令和6年度健診対象者

〈4か月〉 令和5年12月1日生まれ～令和6年11月20日生まれ

〈1歳6か月〉 令和4年10月1日生まれ～令和5年9月30日生まれ

〈3歳〉 令和3年4月1日生まれ～令和4年3月31日生まれ

b 令和7年度健診対象者は、令和8年度支援継続中

(イ) 未受診者支援実施時期

令和6年度健診対象日後1回健診を過ぎた日から未受診者全ての受診確認または状況把握した時期

(ウ) 結果 ※令和6年度受診対象者のみ

(人)

	4か月	1歳6か月	3歳	詳細説明
未受診者支援における健診対象者	917	1,003	1,052	受診月までの転入者、職権消除者、令和5年度未受診者を含む
未受診支援対象者	76	97	127	保護者から受診日変更連絡あり、変更日に受診した者は除く
再通知、電話、訪問により受診につながった者	28	57	76	
未受診者	48 (5.2%)	40 (4.0%)	51 (4.8%)	

(エ) 未受診者の把握状況内訳 ※令和6年度受診対象者のみ

(人)

		4か月児健診			1歳6か月児健診			3歳児健診		
		最終結果	未受診者の把握状況比率	(再掲)本人または保護者が外国籍者	最終結果	未受診者の把握状況比率	(再掲)本人または保護者が外国籍者	最終結果	未受診者の把握状況比率	(再掲)本人または保護者が外国籍者
当市健診未受診者数		48	—	20	40	—	0	51	—	15
他市にて受診		3	6.3%	0	0	—	0	0	—	0
医療機関にて受診		3	6.3%	1	0	—	0	1	2.0%	0
保健師による確認		2	4.2%	0	4	10.0%	2	8	15.7%	1
※1他に重複項目を満たす者	保育園等在園者	0		0	0		0	1		0
	幼稚園等在園者							0		0
情報提供により保育園在園中と確認できたため見守りを依頼		0	—	0	0	—	0	0	—	0
情報提供により幼稚園在園中と確認できたため見守りを依頼								0	—	0
居住していない者		29	60.4%	8	23	57.5%	8	18	35.3%	9
※2居住していない者の内訳	転出者及び職権消除者(市が出国を確認した者のみ)	24		5	11		2	10		3
	出帰国記録にて出国確認	4		3	12		6	8		6
その他		2	4.2%	0	0	—	0	1	2.0%	0
※3その他の者の内訳	入院中	1		0	0		0	1		0
	死亡	1		0	0		0	0		0
	他機関確認	0		0	0		0	0		0
未把握者数		10	20.8%	4	13	32.5%	4	23	45.1%	5

※1,2,3：再掲

(人)

未把握者内訳	4か月児健診			1歳6か月児健診			3歳児健診		
	最終結果	未受診者の把握状況比率	(再掲)本人または保護者が外国籍者	最終結果	未受診者の把握状況比率	(再掲)本人または保護者が外国籍者	最終結果	未受診者の把握状況比率	(再掲)本人または保護者が外国籍者
当市受診	9	90.0%	4	9	69.2%	3	16	69.6%	4
他市にて受診	0	—	0	0	—	0	1	4.3%	0
医療機関にて受診	1	10.0%	0	0	—	0	0	—	0
保健師による確認	0	—	0	3	23.1%	0	2	8.7%	2
情報提供により保育園在園中と確認できたため見守りを依頼	0	—	0	0	—	0	1	4.3%	1
情報提供により幼稚園在園中と確認できたため見守りを依頼							1	4.3%	0
転出・消除(市が出国確認済のみ)	0	—	0	0	—	0	1	4.3%	1
出帰国記録にて出国確認	0	—	0	1	7.7%	1	1	4.3%	0

5 健康教育事業

(1) 離乳食教室（初期：ごっくん教室、後期：かみかみ教室）

ア 目 的

- 保護者に対し、離乳食の意義や進め方について、正しい知識を伝え、家族を含めた健康づくりを考える意識を発展させる。さらに、参加者同士が交流することで、育児に関する情報交換や友達作りができる機会を提供する。
- 乳歯が萌出しはじめ、食事の内容が変化する時期にある子とその保護者を対象に、口腔内に関心が高まる時期を捉え、むし歯予防に関する知識の普及を図り、歯科保健に対する知識の改善及び行動変容を促すことを目的とする。

イ 対 象

ごっくん教室(初期)：4か月児以降の保護者、赤ちゃんの出席可
かみかみ教室(後期)：9か月児以降の親子

ウ 回 数

ごっくん教室、かみかみ教室ともに年12回

エ 周知方法

- (ア) 親子健康手帳(母子健康手帳)交付時に案内文配布
- (イ) 市ホームページによる案内
- (ウ) 4か月児健診時に案内文配布

オ 実施内容

- (ア) 離乳食初期・後期の講話
- (イ) 集団歯科指導（かみかみ教室のみ）
- (ウ) 個別相談、質疑応答

カ スタッフ

管理栄養士、歯科衛生士

キ 実施状況

(組)

ごっくん教室	第1子	第2子以降	計	かみかみ教室	第1子	第2子以降	計
4月10日	10	2	12	4月25日	4	0	4
5月14日	6	2	8	5月30日	5	1	6
6月11日	9	1	10	6月27日	3	0	3
7月9日	8	0	8	7月25日	3	1	4
8月6日	2	0	2	8月29日	4	2	6
9月10日	6	2	8	9月26日	4	1	5
10月8日	11	3	14	10月24日	3	0	3
11月5日	4	1	5	11月28日	3	0	3
12月3日	2	0	2	12月19日	3	1	4
1月14日	11	1	12	1月30日	4	1	5
2月4日	6	2	8	2月27日	1	0	1
3月4日	7	0	7	3月13日	3	1	4
合 計	82	14	96	合 計	40	8	48

(2) 健康教育

ア 「生と性のカリキュラム」 関係

＜高校＞「望まない妊娠と性感染症について」

対 象：高校生

目 的：望まない妊娠や性感染症についての知識を持つとともに、自分や相手の生き方を大切にする気持ちをはぐくむ。

	実施日	実施学校名	生徒数 (人)
1	6月15日	小牧（全日）	245
2	7月18日	小牧（定時）	33
3	11月12日	小牧南	231
4	2月12日	小牧工科	118
計			627

＜中学校＞「すてきな大人になろう～性感染症について～」

対 象：中学3年生

目 的：性感染症についての知識を持つとともに、男女交際のあり方やお互い相手に思いやりを持つことの大切さを気づかせる。

	実施日	実施学校名	生徒数 (人)
1	6月20日	応時	197
2	7月14日	桃陵	141
3	7月15日	篠岡	46
4	9月8日	北里	120
5	11月7日	小牧	245
6	11月19日	岩崎	118
7	12月10日	小牧西	70
8	12月17日	味岡	201
9	2月10日	光ヶ丘	62
計			1,200

＜小学校＞「おへそのひみつ」

対 象：小学2年生とその保護者

目 的：いのちの大切さを知り、かけがえのない自分を大切にできる。自己肯定感を育むことができるようにする。

	実施日	実施学校名	生徒数/保護者 (人)
1	6月21日	小木	47/0
2	6月21日	本庄	94/88
3	9月20日	篠岡	32/40
4	10月15日	米野	127/120
5	10月16日	北里	75/90
6	11月12日	小牧原	79/0
7	11月13日	小牧南	98/90
8	12月3日	光ヶ丘	50/0
9	12月15日	味岡	111/0
10	12月17日	一色	75/0
11	1月16日	大城	45/0
12	1月21日	小牧	119/0
13	1月22日	陶	22/21
14	1月29日	桃ヶ丘	24/0
15	1月29日	村中	50/38
16	1月31日	三ツ渚	41/35
計			1,089/522

＜幼稚園・保育園＞「わたしのだいじなからだ」

対 象：幼稚園・保育園年長児とその保護者

目 的：自分や相手を大切と感ずることができる。

	実施日	実施園名	園児/保護者/保育関係者（人）
1	5月14日	陶保育園	15/0
2	5月15日	レイトン保育園	21/0
3	6月2日	太陽幼稚園	49/0
4	6月10日	北里保育園	14/0
5	6月12日	本庄保育園	32/6
6	6月18日	第二保育園	23/0
7	6月19日	古雅保育園	16/0
8	6月20日	じょうぶし保育園	28/0
9	7月14日	三ツ渚北保育園	13/6
10	8月5日	大城保育園	21/0
11	8月28日	味岡保育園	41/0
12	9月25日	一色保育園	26/0
13	10月28日	岩崎保育園	32/0
14	12月19日	三ツ渚保育園	14/0
15	2月20日	第一幼稚園	31/8
16	8月1日	一般編（ふらっとみなみ）	15/7/1
計			391/27/1

イ 職業人体験学習関係

	実施日	実施学校名	生徒数（人）
1	5月27日～28日	北里	2
2	9月9日～11日	味岡	2
3	11月5日～7日	小牧西	2
4	11月27日～28日	応時	2
5	12月9日～11日	岩崎	2
6	12月16日～18日	小牧	2
計			12

ウ 管理栄養士対応健康教育（母子保健関係）

	実施日	内容	対象	人数（人）
1	7月30日	おやこの食育教室	市民	20
2	9月8日	離乳食のポイント	小規模施設長他	37
3	11月3日	子どもの食事の困り事	児童館指導員	11

(3) 生と性に関するカリキュラムの推進への取り組み

ア 自己肯定感の醸成

(ア) 4か月児健康診査の健康教育

子どもの心の成長の基本となる親子の愛着形成及び自己肯定感について伝える。

(イ) 乳幼児健康診査におけるサポートプランの配布

4か月児健康診査、1歳6か月児健康診査、3歳児健康診査、5歳児健康診査にて、保健師より親子の自己肯定感醸成のため、育児の見通しや保護者へのメッセージを伝え、サポートプランを配布。

(ウ) 親子で学ぶ性教育の実施

中央図書館イベントスペースにて性教育情報について展示。

(令和7年7月11日～7月17日)

イ 小牧市HP「安心相談窓口」周知

- ・小牧市ホームページ内に相談窓口を記載した「安心相談窓口」を作成、周知。令和7年度より市内中学校にて生徒に配布しているタブレットに、「安心相談窓口」に繋がるアイコンを設置し、タブレット内で確認できるよう設定。

6 相談事業

(1) 母乳相談

ア 目的

母親が母乳に関して持っている心配や疑問を気軽に相談でき、個々に応じた授乳方法を確立できるよう援助する。

母乳育児が親子の絆を深め、最後までよりよい状態で終了できるように、卒乳に向け援助する。

イ 対象

- (ア) 母乳育児に関して心配や疑問を持つ妊婦
- (イ) 母乳育児確立のための支援が必要な母子
- (ウ) 授乳をはじめとした育児に心配や疑問を持つ母親

ウ 実施日数

60日/年（予約制）

エ 周知方法

- (ア) 市ホームページによる案内
- (イ) 親子健康手帳（母子健康手帳）交付時に紹介
- (ウ) 市内産婦人科・小児科にポスターを設置
- (エ) 相談・訪問や4か月児健診において母乳育児に関して、心配や疑問を持っている母親に対して案内

オ 実施内容

- (ア) 妊娠中からの母乳育児の取り組みと乳房の手当ての指導
- (イ) 母乳に関するトラブル等母乳育児に関する相談
- (ウ) 授乳をはじめとした育児全般に関する相談
- (エ) 卒乳に関する相談

カ スタッフ

助産師

キ 実績

(人)

相談実人数	相談延べ人数
79	144

ク 相談内容内訳

(件)

相談内容		月齢	妊婦	1 か 月 未 満	1 か 月 ～ 2 か 月 未 満	2 か 月 ～ 3 か 月 未 満	3 か 月 ～ 4 か 月 未 満	4 か 月 ～ 5 か 月 未 満	5 か 月 ～ 6 か 月 未 満	6 か 月 ～ 9 か 月 未 満	9 か 月 ～ 1 歳 未 満	1 歳 ～ 1 歳 6 か 月 未 満	1 歳 6 か 月 ～ 2 歳 未 満	2 歳 以 上	内 容 別 延 べ 件 数 合 計
授乳について	授乳方法		0	0	8	26	34	7	17	25	17	0	0	0	134
	母乳量・ミルク量		0	0	8	23	34	7	17	22	13	0	0	0	124
	乳房トラブル		0	0	3	18	19	4	6	9	3	0	0	0	62
	乳房ケア		0	0	2	7	9	0	3	2	2	0	0	0	25
	断乳・卒乳		0	0	0	2	1	0	1	10	15	1	0	0	30
	その他		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
育児について	体重増加		0	0	8	26	35	7	17	25	19	7	0	0	144
	その他		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	育児		0	0	8	25	35	7	17	25	19	7	0	0	143
	離乳食		0	0	0	8	22	4	17	25	19	7	0	0	102
	母自身 (精神面含む)		0	0	1	0	7	1	5	11	11	5	0	0	41
	その他		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
月齢別相談数			0	0	38	135	196	37	100	154	118	27	0	0	805

(2) 市内児童館巡回育児相談、妊産婦健康相談

ア 目的

市内児童館を巡回し、子どもの発育・発達に関する相談や保護者の育児に関する相談に対して個別に支援するとともに、相談者同士が交流の場を持ちお互いに学び合える場となるよう支援する。

イ 対象

相談を希望する者（予約制）

ウ 周知方法

(ア) 市ホームページでの案内

(イ) 親子健康手帳（母子健康手帳）交付時に案内

(ウ) 市内各児童館・産婦人科・小児科にポスターを設置

エ 実施内容

(ア) 育児相談：育児相談、身体計測（各自自由計測）

(イ) 妊産婦健康相談：健康相談、身体計測、血圧測定

オ スタッフ
保健師、助産師

カ 実 績

(人)

	年回数	乳児	幼児	妊婦	産婦	母親	計
小牧児童館	4	2	2	0	0	0	4
小牧南児童館	4	6	8	0	0	0	14
味岡児童館	4	4	2	0	0	0	6
篠岡児童館	4	5	3	0	0	0	8
大城児童館	4	3	1	0	0	0	4
北里児童館	4	4	2	0	0	0	6
西部児童館	4	1	2	0	0	1	4
計	28	25	20	0	0	1	46

キ 相談内容内訳

(件)

		身体計測 (人)	相談 (人)	相談内容（再掲・重複あり）											延べ利用	
				発育	発達	栄養	母乳	排泄	育児	生活リズム	病気	歯科	情報提供	その他	件数	
小牧 児童館	乳児	2	2	2	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	4	8
	幼児	2	2	1	0	1	1	0	0	1	0	0	0	0	4	
	妊婦	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	産婦	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	母親	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
小牧南 児童館	乳児	8	6	11	1	6	5	1	1	3	1	0	0	0	29	45
	幼児	9	8	2	4	4	3	0	1	0	0	0	1	1	16	
	妊婦	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	産婦	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	母親	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
味岡 児童館	乳児	4	4	4	3	3	4	0	1	2	0	0	2	0	19	25
	幼児	2	2	1	2	1	0	0	1	0	0	1	0	0	6	
	妊婦	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	産婦	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	母親	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
篠岡 児童館	乳児	5	5	2	2	5	4	0	0	0	0	0	0	1	14	24
	幼児	4	3	2	1	3	1	0	0	1	0	2	0	0	10	
	妊婦	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	産婦	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	母親	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
大城 児童館	乳児	6	3	1	0	3	1	0	0	0	0	0	0	0	5	7
	幼児	4	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	2	
	妊婦	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	産婦	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	母親	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
北里 児童館	乳児	4	4	2	3	2	2	0	0	3	0	1	0	0	13	19
	幼児	2	2	1	1	2	0	0	0	0	0	0	0	2	6	
	妊婦	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	産婦	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	母親	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
西部 児童館	乳児	1	1	1	0	1	0	0	0	1	0	0	0	1	4	12
	幼児	2	2	2	0	2	0	0	0	1	0	1	0	1	7	
	妊婦	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	産婦	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	母親	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	
計	乳児	30	25	23	9	22	16	1	2	9	1	1	2	2	88	140
	幼児	25	20	9	9	13	5	0	2	3	0	4	2	4	51	
	妊婦	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	産婦	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	母親	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	

ク その他

児童館巡回育児相談は、相談件数の減少、同一相談者が各児童館への来所等があり、また各相談でも対応可能であるため、令和7年度をもって終了とする。

(3) 2歳3か月児歯科健康診査時育児相談

ア 実施回数 24回

イ 相談者数

(人)

	相談者数
男	433
女	415
計	848

ウ 分類別相談内容

(件)

	C：当日指導		B：要経過観察		計		
	男	女	男	女	男	女	合計
発育	1	0	0	0	1	0	1
精神発達	45	37	211	139	256	176	432
言語発達	9	2	20	13	29	15	44
運動発達	1	0	2	4	3	4	7
疾病	3	5	1	1	4	6	10
家庭環境	3	6	10	11	13	17	30
生活習慣	1	1	0	1	1	2	3
食習慣	11	5	1	3	12	8	20
その他	12	26	5	2	17	28	45

(4) 栄養相談

(件)

	4か月児 健診	1歳6か月児 健診	2歳3か月児 健診	3歳児健診	5歳児健診	定例外	合計
離乳食	4	1	0	0	1	20	26
少食	0	4	1	2	0	0	7
過食	0	0	0	0	0	0	0
食物アレルギー	0	1	0	0	0	0	1
偏食	0	1	5	5	4	1	16
遊び食べ・ムラ	0	0	1	0	0	0	1
間食	0	0	0	0	0	0	0
下痢	0	0	0	0	0	0	0
便秘	0	0	0	0	0	0	0
肥満	0	0	0	0	0	1	1
やせ	0	0	0	0	0	0	0
母乳・ミルク	0	0	0	0	0	0	0
水分	0	0	0	0	0	0	0
生活リズム	0	0	0	0	0	0	0
咀嚼	0	1	1	1	0	0	3
バランス	0	0	0	0	0	1	1
病態栄養	0	0	0	0	0	0	0
食生活	0	6	9	3	5	3	26
その他	0	0	0	1	0	0	1
合 計	4	14	17	12	10	26	83

(5) 母子電話相談

ア 目 的

育児相談専用電話を設置し親子の成長を支援する。

イ 電話件数

(件)

	乳児	幼児	学童	妊婦	産婦	母親	虐待	その他	計
一般電話	3	5	3	0	0	1	0	1	13

ウ 相談内容

(件)

		一 般 電 話								
		乳児	幼児	学童	妊婦	産婦	母親	虐待	その他	計
発 達 ・	発達	0	0	1	0	0	0	0	0	1
	精神発達面	0	2	0	0	0	0	0	0	2
	運動発達面	0	0	0	0	0	0	0	0	0
医 学	疾病	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	病気・けがの 手当て	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	妊娠・出産	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	予防接種関係	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	歯科(う歯等)	0	0	0	0	0	0	0	0	0
基 本 的 生 活 習 慣 ・ 育 児	睡眠	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	排泄	0	1	0	0	0	0	0	0	1
	食事	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	哺乳関係	2	0	0	0	0	0	0	0	2
	歯科 (仕上げ磨き等)	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	情緒	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	育児一般	0	1	0	0	0	0	0	0	1
	習癖	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	家庭環境	0	0	0	0	0	1	0	0	1
	友達関係	0	0	0	0	0	0	0	0	0
そ の 他	情報提供(健 診・病院・サー クル関係)	0	1	1	0	0	0	0	1	3
	虐待	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	1	0	1	0	0	0	0	0	2
計		3	5	3	0	0	1	0	1	13

エ 栄養電話相談（管理栄養士対応）

（件）

相談内容	電話相談 (相談者から＋栄養士から＋育児相談)
離乳食	39
少食	2
過食	0
食物アレルギー	2
偏食	3
遊び食べ・ムラ	1
間食	0
下痢	0
便秘	0
肥満	0
やせ	0
母乳・ミルク	1
水分	0
生活リズム	0
咀嚼	3
バランス	0
病態栄養	6
食生活	15
その他	1
合計	73

(6) 臨床心理士による相談

ア 目的

- (ア) 児の精神発達を確認し、親に対して生活でのかかわり方を指導し、今後の児の発達を促す。
- (イ) 父母の育児状況を確認し育児相談を実施することにより、今後の児の発達を促す。

イ 対象

- (ア) 各種乳幼児健康診査において発達相談の必要があったと思われる児
- (イ) 電話相談・訪問等で発達相談の必要があったと思われる児

ウ 講師

臨床心理士 2人

エ 実施内容

発達相談

オ 実施回数
年145回（1回につき3件）

カ 相談利用者における問題点、処遇の内訳

（件）

項目	件数	処遇内容									
		当日のみ	再相談へ	保健師 対応	なかよし 教室へ	おひさま サロンへ	療育の場 へ	次回健診 へ	児童館等	医療機関 へ受診	その他
言語発達	97	8	0	22	21	0	23	18	0	4	1
発音	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
どもり	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
全体の発達	114	21	5	37	11	1	21	12	0	2	4
理解	12	2	0	7	0	0	1	2	0	0	0
落ち着きがない	54	9	1	18	11	0	4	7	0	1	3
対人関係	33	3	0	15	2	0	5	6	0	2	0
コミュニケーション	4	1	0	2	0	0	0	0	0	0	1
人見知りが強い	12	1	2	3	0	0	2	4	0	0	0
かんしゃくが強い	22	6	1	6	2	0	2	4	0	0	1
こだわりが強い	4	0	0	1	0	0	0	3	0	0	0
情緒面	8	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0
集団適応	3	2	0	0	0	0	1	0	0	0	0
育児	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
乱暴	5	0	0	0	2	0	2	0	0	1	0
かみつぎ	3	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0
きりかえ	7	0	0	4	0	0	0	1	0	0	2
計	380	62	10	115	51	1	61	57	0	11	12

延相談件数	380 件
実相談件数	376 件

（7）運動発達相談

ア 目 的

運動発達等に遅れのある子どもへのかかわり方を親に対して指導することにより、発達を促していく。

また、受診が必要な場合にはその行動がとれる親になれるように指導する。

イ 対 象

乳幼児健診、育児相談、訪問、なかよし教室・おひさまサロン等で、運動発達に関して相談が必要と思われる子どもと親

ウ 講 師

作業療法士 2人

エ 実施内容
運動発達相談

オ 実施回数
年18回

カ 内 訳

個別面接(件)	訪問(件)	なかよし教室 おひさまサロン(回)
77 (10)	0	0

※()内は再来の掲載

キ 相談内容、処遇の内訳
(ア) 0か月～10か月まで

内容	件	処遇 (件)							
		当日のみ	運動発達 相談件数	保健師 フォロー	なかよし 教室へ	療育へ	次回健診 へ	医療機関 受診へ	その他
そり返りについて	1	0	0	1	0	0	0	0	0
首すわりについて	0	0	0	0	0	0	0	0	0
寝返りについて	0	0	0	0	0	0	0	0	0
お座りについて	1	0	0	1	0	0	0	0	0
ずりばい・ハイハイについて	1	0	1	0	0	0	0	0	0
つかまり立ちについて	0	0	0	0	0	0	0	0	0
1人歩きについて	0	0	0	0	0	0	0	0	0
全体の発達	2	0	0	2	0	0	0	0	0
疾病に伴う発達	2	0	0	1	0	0	0	0	1
その他(足底をつきたがらない、変化が嫌い など)	0	0	0	0	0	0	0	0	0

(イ) 10か月以降～1歳6か月まで

内容	件	処遇 (件)							
		当日のみ	運動発達 相談件数	保健師 フォロー	なかよし 教室へ	療育へ	次回健診 へ	医療機関 受診へ	その他
お座りについて	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ずりばい・ハイハイについて	0	0	0	0	0	0	0	0	0
つかまり立ちについて	1	0	1	0	0	0	0	0	0
1人歩きについて	3	0	0	2	0	0	1	0	0
歩き方について	0	0	0	0	0	0	0	0	0
身体の使い方について	6	0	0	2	0	0	4	0	0
全体の発達	4	0	0	1	0	1	2	0	0
疾病に伴う発達	3	0	0	2	0	0	1	0	0
その他(足底をつきたがらない、変化が嫌い など)	0	0	0	0	0	0	0	0	0

(ウ) 1歳6か月以降

内容	件	処遇（件）							
		当日のみ	運動発達 相談件数	保健師 フォロー	なかよし 教室へ	療育へ	次回健診 へ	医療機関 受診へ	その他
つかまり立ちについて	0	0	0	0	0	0	0	0	0
1人歩きについて	6	0	0	2	0	1	1	1	1
歩き方について	6	2	0	0	0	2	1	0	1
身体の使い方について	26	5	4	7	0	3	3	0	4
全体の発達	12	1	0	4	0	2	3	2	0
疾病に伴う発達	3	0	2	0	0	1	0	0	0
その他(足底をつきたがらない、変化が嫌い など)	0	0	0	0	0	0	0	0	0

(8) なかよし教室

ア 目的

親子がいろいろな遊びを経験し、人とのかかわりを持つ中で、親が我が子の成長・発達に気付いたり、確認したり、親子のかかわりの楽しさを共感したりすることで、親子関係の大切さを知り、豊かな生活を送ることができる。

(ア) 親が子どもの姿（個性）を客観的に見つめ捉えることができる。

(イ) 親が子どもの姿（個性）に合わせたかかわり方ができる。

(ウ) 親が自己肯定感を高めて子育てに生かすことができる。

イ 対象

(ア) 発達に関して支援が必要な子どもの親

(イ) 付き合いにくさ、かかわりづらさを持つ子どもの親

(ウ) 子どもとの付き合い方を学びたい親

ウ スタッフ及び助言者

スタッフ：保健師、保育士、看護師

助言者：あさひ学園指導員

（療育的視点）（1クールに1回助言者として参加）

発達相談：心理相談員が担当（1クールにつき1回）

エ 支援方法

アー(ア)に対して

- ① 親が子どものありのままの姿（行動）を見つめることができるように、子どもと一緒に行動することを伝える。
- ② 行動の中での子どもの表情、働きかけに対しての反応、どんな行動、どんな声、言葉が聞かれたか等、親が子どもの行動を振り返ることができるようにする。
- ③ スタッフが子どもにかかわった時の子どもの姿（反応）を親に伝える（子どもの個性を伝える）。
- ④ 親と子どもが楽しくかかわることができる様子が見られる場面やその姿を共有する。

- ⑤ 客観的意見等を聞いて、親が子どもの個性に気づけるように子どもの姿を親と共に考える。

アー(イ)に対して

- ① 子どもの行動に親が合わせていけるように、子どもと一緒に行動することを伝える。
- ② 子どもと親が楽しくかかわることができる場面の設定をする。また、親が主体であると意識できるような設定をする。
- ③ 親が子どもの表情や態度を見て子どもの気持ちを感じ取り、共感・対応ができる親になれるように子どもの様子やかかわり方を助言する。
- ④ 親がかかわりづらいと思っていることを具体化し、かかわり方のノウハウを提供し、また今後参加できる場（療育、おひさまサロン、児童館等）の情報提供をする。

アー(ウ)に対して

- ① 教室の中での子どもとの関係において、子どもの受け止め方やかかわり方等、場面を通して親の行動を認めことばで伝える。
- ② 親が主体であることを親とスタッフ間の共通認識とする。（必要時以外は手出し、口出しをしない。）
- ③ 親に対して自信を持って子育てができるように、また、親自身の自己肯定感が高まるように働きかける。子育ての不安の緩和を図る。
 - I うまくいった体験・対応を繰り返す。
 - II できていることを認める。
 - III 居心地の良い教室を運営する。

オ 実施内容

自由遊び、親子遊び、飲水、助言者による個別相談（必要に応じて）、カンファレンスでのケース検討会

カ 実施状況

42回／年（1コース6回、年7クール実施）

実施月	回数(回)	参加児(人)	延参加児(人)
4・5月	6	16	88
6・7月	6	14	74
7・8・9月	6	14	65
9・10月	6	16	78
11・12月	6	13	58
12・1・2月	6	18	93
2・3月	6	10	50
計	42	101	506

(9) おひさまサロン

ア 目 的

親がなかよし教室で感じ取った体験（親子で楽しい体験、子どもの表情が変わった、どんなことが好きか等）をもとに、より具体的にその子に応じた働きかけやかかわり方を学び、毎日の生活に生かしていくことができるよう支援する場となる。

また、親には子どもに本来備わっている「育つ力」が十分発揮できるようなかかわりができていることを伝え、子育てに自信が持てるよう支援する。自己肯定感を高める。

イ 対 象

なかよし教室終了後、より具体的な子どもとの付き合い方、働きかけ方（日常生活面や他児とのかかわり方等）を学びたい親

ウ スタッフ及び助言者

スタッフ：保育士、保健師

助 言 者：保健師（親支援やカンファレンスの必要時）

エ 支援方法

(ア) なかよし教室の様子をもとに、地区担当保健師が親と話し合い（親が具体的に知りたいことや子どもが獲得するとよい力、親が獲得する育児姿勢等）、参加目的を明確化する。

(イ) 参加目的に沿った支援をする。また、親に対して自信をもって子育てできるように親自身の自己肯定感が高まるように働きかける。また、子育ての不安の緩和を図る。

① うまくいった体験を繰り返す。

② できていることをほめる。

③ 安心して参加できる場を提供する。

④ 他の親子が成功している場面・かかわり方を紹介する。

(ウ) 子ども自身が、付き合いにくさ、かかわりづらさという個性をもつため、子どもが楽しい遊びを展開できるように支援する。また、親に助言をしていく。

(エ) 参加目的を評価する機会を（継続は4か月まで）設ける。

(オ) 保育士、地区担当保健師の役割

《保育士》

- ・親子の参加目的を知り、親のかかわり（親の姿勢）に焦点をあてたアドバイスを
する。

- ・親の育児の頑張りを認め、親の自己肯定感を育てる。

《保健師》

- ・なかよし教室での評価をもとに、おひさまサロンに参加する目的を一緒に考
える。

- ・親の育児の頑張りを認め、親の自己肯定感を育てる。

オ 実施内容

自由遊び、親子遊び、課題を持った遊び、基本的な生活習慣への働きかけ、カンファレンスでのケース検討会

カ 実施状況

実施回数	30 回
実参加児数	31 人
延参加児数	72 人

キ 事業開始時と比べ、早期に療育を希望される親子が増加し、おひさまサロンの需要は減少したため、令和7年度をもっておひさまサロンを終了することとなった。

7 訪問事業

(1) 保健センター保健師による妊婦・産婦・乳幼児訪問

ア 目 的

- (ア) 親子の健やかな成長を支援する。
- (イ) 出産前後の妊婦・産婦の時期からかわりを持つことにより、信頼関係を築き、出生後の母子の健康の見守り、育児の支援につなげる。
- (ウ) 育児に悩んでいるもしくは適切な養育が困難な状況で、保健センターや他の地域資源を利用できない家族へ支援する。

イ 対 象

家族の希望や乳幼児健康診査（健康診査未受診者含む）、電話相談等で必要が感じられた親子

ウ 訪問件数

(ア) 乳 児	178件
(イ) 幼 児	231件
(ウ) 妊 婦	67件
(エ) 産 婦	64件
(オ) 精神保健福祉	98件
(カ) 難 病	0件
(キ) 要対協管理ケース	111件
(ク) その他	58件
合 計	807件

エ 把握動機及び支援内容

		(件)
事例把握動機	ケース連絡	病院から
		58
		児童相談所から
		30
		保健所から
		0
	保育園等・こども政策課から	
		20
	他市から	131
	妊娠届出時	348
	低体重児届出時	8
	助産師訪問	6
	連絡員から	0
	4か月児健診	14
	1歳6か月児健診	36
	2歳3か月児健診	14
	3歳児健診	11
	健診未受診	62
	育児相談・発達相談・電話	40
	その他	29
計		807

		(件)		
支援内容	児の成長確認		421	
	育児状況		472	
	身体計測		212	
	援助	受け止め		248
		ことば		62
		あそび		102
		食事		103
		排泄		66
		清潔		63
		生活リズム		67
		授乳について		187
		その他		129
		育児に関すること		376
	情報提供	社会資源・医療機関・児童館		277
		予防接種		141
		センター事業勸奨		219
その他		156		
虐待予防			94	
計			3,395	

※重複記載あり

(2) 助産師による妊婦・産婦・新生児・乳児訪問

ア 目 的

相談支援が必要な者に対して、妊娠・出産、産後の不安の強い時期からかかわりを持つことにより信頼関係を築き、今後育児を進めていく上で、1人で悩まず、相談機関の活用等問題解決に向けて行動のできる親となるよう支援する。

イ 対 象

- (ア) 親子健康手帳（母子健康手帳）交付時の面接で不安の強そうな母
 - (イ) 親子健康手帳（母子健康手帳）交付時アンケートより
 - ①既往歴により精神的な疾患等問題を持つ母
 - ②母乳育児の意思をもった母
 - ③相談者、協力者のいない母
 - (ウ) 妊婦健康診査受診票より妊娠高血圧症候群、尿糖などがみられる母
 - (エ) 若年、高齢出産の母
 - (オ) 多胎児や低体重児を出産した母
 - (カ) 関係機関より継続支援依頼があった母
 - (キ) 「連絡員赤ちゃん訪問」を実施後、保健連絡員・OBを通して訪問依頼のあった母
 - (ク) その他母親からの訪問依頼のあった時
- 上記の(ア)～(カ)の対象に対しては、電話等にて母子の生活や育児状況等を確認し、必要に応じて訪問につなげる。

ウ スタッフ

助産師 8人

エ 周知方法

- (ア) 市ホームページに案内
- (イ) 市内産婦人科にポスターを設置
- (ウ) 親子健康手帳（母子健康手帳）交付時に案内
- (エ) 出生届受理時にチラシの配布

オ 実績

(ア) イ対象のうち、(ア)～(カ)の対象者への助産師電話相談実績 (人)

相談対象者数	電話相談数	つながらない等
318	313	5

(イ) 電話相談方向性内訳

(人)

助産師訪問へ	母乳相談へ	継続支援へ	電話相談で終了	計
268	0	38	7	313

カ 低体重児把握数

(人)

把握総数	500g未満	500g～ 999g	1,000g～ 1,299g	1,300g～ 1,499g	1,500g～ 1,799g	1,800g～ 1,999g	2,000g～ 2,299g	2,300g～ 2,499g
82	0	1	3	1	3	6	25	43

キ 妊婦・産婦・新生児・乳児訪問実績

(人)

	新生児	乳児	産婦	妊婦
実人数	54 (16)	743 (66)	784	0
延人数	58 (18)	1,034 (192)	1,042	0

※（ ）内は実施件数内の低体重児の人数

ク 把握動機

(人)

把握動機	人数
低体重届出書より	39
母より申し込み（電話・来所含む）	496
保健師からの電話	21
助産師からの電話	192
赤ちゃん訪問	0
病院からの連絡	22
他の保健機関からの連絡	27
前回の訪問から	295
その他	0
計	1,092

ケ 相談内容

		(件)
	内 容	件数
授乳について	母乳について	606
	ミルクについて	716
	授乳方法について	780
	乳房トラブル、ケアについて	149
	その他	15
児の体について	発育（体重増加）について	963
	児の体について	1,014
	児の疾患について	28
	その他	52
育児について	育児について	886
	環境・生活リズムについて	416
	その他	38
母について	母の疾患について	49
	母の体調について	219
	母の精神面について	221
	支援・家族関係・生活について	471
	その他	14
情報提供	情報提供（社会資源、保健事業、医療機関等）	1,097
	その他	10
合計		7,744

(3) 管理栄養士による訪問

ア 目的

実際の家庭状況や食事状況を把握することにより、親が食生活への意識を築き上げ、児の成長につなげることができるよう支援する。

イ 対象

- (ア) 家庭の事情により、保健センターに来所できない親子
- (イ) 児の食生活支援のために、実際の食事状況を確認する必要が感じられた親子

ウ 訪問件数 22件

8 中学生ピロリ菌検査事業

(1) 目 的

慢性胃炎、胃・十二指腸潰瘍及び胃がんの原因であるピロリ菌を早期に発見し、将来の慢性胃炎、胃・十二指腸潰瘍及び胃がん予防に役立てる。また、中学校で「がん予防」を学習する機会に合わせてピロリ菌検査を行うことで、生徒が健康に興味関心を持ち、その後の健康の保持・増進につなげることを目的とする。

(2) 対 象

ピロリ菌検査を受ける日時点において市内に住所を有する中学2年生であり、本人及びその保護者で検査の内容を理解し、Logoフォームにより申し込みをした者

(3) 内 容

検査内容・希望について市内中学校(チラシ配布)、広報、ホームページ、イベントPR、SNS等を通じて周知・募集を行った。

検査希望者に対し、下記検査を行った(一次・二次検査ともに無料)。

ア 一次検査…保健センターもしくは市内各市民センター・コミュニティーセンターにて回収【8～10月】

尿検査：尿中抗体検査

尿採取した検査キットを委託業者にて検査し、検査結果用紙を郵送

検査結果：陰性(今回の検査では特に感染を認めません)

陽性(ピロリ菌感染の可能性があります)

検査結果の陽性者に対し結果説明チラシと二次検査受診勧奨を行った。

イ 二次検査…市内医療機関に予約し受診【10月～2月】

便検査：便中ヘリコバクターピロリ抗原検査

市内検査実施医療機関に受診し(1)医師による問診(2)便中抗原検査を実施

検査結果：陰性、陽性

検査結果は医療機関・保健センターより説明の上返却。

検査結果の陽性者に対しては、今後消化器症状があった際は速やかに受診する事、胃がん検診を積極的に受診する事等を伝えた。

※積極的治療を希望された場合：自由診療(実費)となる旨、胃内視鏡検査等が必要となる等の説明・相談対応を行った。

(4) 実 績

区分	対象者(人)	受検者(人)	受検率(%)	陽性者(人)	陽性率(%)
一次検査	1,396	301	21.6	3	1.0
二次検査	3	3	100.0	0	0.0

9 外国人通訳の配置

(1) 目 的

外国人の方々に各種健康診査、健康相談・育児相談、予防接種等通訳を通じて十分かつ、正確な情報を得てもらい、心配や不安の軽減を図る。

(2) 対 象

日本語がわからない外国人

(3) 通訳人数

2人

(4) 通訳の対応言語

ポルトガル語、スペイン語、ベトナム語

(5) 通訳来所日

ポルトガル語・スペイン語：火～金（9時～16時）

ベトナム語：2歳3か月児歯科健康診査を除く乳幼児健診のある日（13時～16時）

(6) 各種健康診査外国人対象者及び受診者数通訳対応状況

(人)

健診内容	対 象 者			受 診 者				
	外国 人	(再掲)	(再掲)	外国 人	(再掲)	(再掲)	(再掲)	(再掲)
		ポ ル ト ガ ル 語 ス ペ イ ン 語	ベ ト ナ ム 語		ポ ル ト ガ ル 語 ス ペ イ ン 語	ポ ル ト ガ ル 語 ス ペ イ ン 語 通 訳 対 応	ベ ト ナ ム 語	ベ ト ナ ム 語 通 訳 対 応
4か月児健康診査	87	41	20	85	38	36	16	14
1歳6か月児健康診査	140	74	35	124	69	61	27	24
3歳児健康診査	112	36	42	95	31	26	26	23
5歳児健康診査	98	26	40	72	23	18	24	21
2歳3か月児歯科健康診査	100	42	36	78	29	0	27	25
合計	537	219	173	454	190	141	120	107

(7) その他 通訳対応状況

(人)

	通訳対応	(再掲)	(再掲)
		ポルトガル語 スペイン語	ベトナム語
来所者対応	415	206	209
電話対応	389	293	96

10 産後ケア事業

(1) 目的

産後の母子に対して心身のケアや育児サポートを行い、安心して子育てができるよう支援する。

(2) 対象

市内に住所を有する産後4か月未満の母親及び生後4か月未満の乳児（アウトリーチは12か月未満）で、下記のいずれにも該当する者。

- ①産後ケアを希望する者
 - ②感染症疾患（麻疹、風疹、インフルエンザ等）に罹患していない者
 - ③母親に心身の不調があり、医療行為が必要でない者
- （ただし、医師が事業において対応が可能であると判断した者は除く）

(3) 内容

利用日数はショートステイ、デイケア、アウトリーチを合算して7日を上限とする。

ア ショートステイ（10時～翌16時：1泊2日4食（一泊延泊ごとに3食追加））

対象者を宿泊させ、休養の機会を提供するとともに、心身のケア、育児サポート等のきめ細かい支援を実施する。

イ デイケア（10時～16時：1食付）

対象者に日帰りで施設を利用させ、休養の機会を提供するとともに、心身のケア、育児サポート等のきめ細かい支援を実施する。

ウ アウトリーチ（9時～17時のうち3時間程度）

対象者の自宅等に助産師が訪問し、休養の機会を提供するとともに、心身のケア、育児サポート等のきめ細かい支援を実施する。

(4) 実績

ア 内容別

ショートステイ利用日数		デイケア利用日数		アウトリーチ利用日数	
実人数	延日数	実人数	延日数	実人数	延日数
91 組	341 日	16 組	27 日	93 組	176 日

イ 利用日数別

ショートステイ							デイケア	アウトリーチ	計 (延人数)
	1泊2日	2泊3日	3泊4日	4泊5日	5泊6日	6泊7日			
	57	37	7	3	4	7	27	176	318
(再掲) 契約外機関	1	0	0	0	0	0	0	0	1

※1人で複数回利用した人は、それぞれでカウント

(5) 契約医療機関（17機関）

- ① ショートステイ、デイケア、アウトリーチを実施
 - ・愛助産院（春日井市）
 - ・ふくろう助産院（尾張旭市）
 - ・にこ助産院（各務原市）
 - ・星野助産院（名古屋市）
- ② ショートステイ、デイケアを実施
 - ・エンゼルレディースクリニック（市内）
 - ・産科・婦人科ミナミクリニック（市内）
 - ・おおばやしマタニティクリニック（北名古屋市）
 - ・かすがいマタニティクリニック（春日井市）
 - ・まのウィメンズクリニック（春日井市）
 - ・森永産婦人科（春日井市）
- ③ デイケア、アウトリーチを実施
 - ・もりかわ母乳育児相談室（名古屋市）
- ④ ショートステイを実施
 - ・小牧市民病院（市内）
 - ・春日井市民病院（春日井市）
 - ・平竹クリニック（名古屋市）
- ⑤ アウトリーチを実施
 - ・ほのぼの助産院（市内）
 - ・澤野助産院（犬山市）
 - ・お母さんと赤ちゃんのLampo（春日井市）
 - ・助産院ふうハウス（春日井市）
 - ・山中助産院（春日井市）
 - ・唯助産所（春日井市）

(6) 産後ケア事業 利用者アンケートのまとめ（回答 162人）

ア 利用してよかった点（複数回答）

休息が取れた	89人
相談ができた	108人
母乳ケアや授乳の仕方に関する指導	107人
沐浴の仕方に関する指導	9人
その他	

- ・子どもを預かってもらえた。
- ・おしゃべり（会話）ができた
- ・医療機関選びの参考になった
- ・乳房ケアをしてもらえたこと。また今後の対応について相談ができたこと

イ 事業を利用前よりも、ゆったりとした気分でお子さんとすごせるか。

はい	132人
いいえ	3人
なんとも言えない	27人

ウ 今後、困ったことがあれば相談しようと思えるか。

はい	160人
いいえ	1人
なんとも言えない	1人

1 1 1stアニバーサリー事業

(1) 目 的

1歳のお誕生日に絵本などをプレゼントしてお子さんの成長をお祝いし、その機会に育児相談や情報提供を行うことで保護者の育児不安を取り除くことを目的とする。また、子育て世代包括支援センターや児童館を利用したことのない親子が当事業をきっかけに今後も施設を利用し、継続的な支援につながることを期待している。

1stアニバーサリー事業をセカンドブック事業としても位置付け、読み聞かせを通して、愛着形成を促し親と子の自己肯定感を育む。

(2) 対 象

市内に住所を有する1歳児とその保護者

(3) 内 容

ア 絵本

イ エプロンタオル

ウ バースデーカード兼図書館員からのメッセージカード

エ 1歳のサポートプラン

(4) 実施結果

ア 通知者数

令和6年6月生まれ～令和7年5月生まれ 919人

イ 利用者数

(令和7年4月1日～令和8年3月31日)

(人)

	子育て世代包括 支援センター	小牧児童館	小牧南児童館	味岡児童館	北里児童館	西部児童館	篠岡児童館	大城児童館	合計
計	546	38	34	49	32	16	11	26	752
外国人（再掲）	72	4	1	1	0	1	1	2	82
初回利用者（再掲）	115	6	4	8	4	0	1	2	140

(5) 主な相談内容

(件)

相談なし	相談あり									処遇		
	基本的 生活習慣	育児方法	環境	発育・ 発達	医学	情報提供	支援・ 保護	その他	計	傾聴・ 共感	助言・ 指導	(再掲)
												地区担当保健師 や子育て世代包 括支援センター で継続
50	385	69	33	80	12	83	0	40	702	135	567	80

1 2 利用者支援事業（こども家庭センター型（母子保健機能））

(1) 目 的

妊娠・出産・育児期にわたる様々な悩みに対して切れ目ない支援体制を整備することを目的として相談支援を行い、安心して妊娠・出産・子育てができる環境を作ることを目的とする。

(2) 対 象

相談希望者（面接、電話、訪問、メール、オンライン、手紙）

(3) 内 容

妊娠・出産・育児にわたる相談全般

(4) 実 績

ア 相談方法別

(件)

面接	電話	訪問	メール	手紙	オンライン	計
329	840	135	155	10	2	1,471

イ 相談内容別

(件)

相談あり										処遇	
基本的 生活習慣	育児 方法	環境	発育・ 発達	医学	情報 提供	支援・ 保護	妊娠 SOS	流産・ 死産	その他	助言・ 指導	見守り・ 継続
69	43	550	66	71	555	0	51	4	62	236	1,235

ウ こまき妊娠SOS関係の相談（再掲）

実人数 14人、延相談件数 51件

エ 流産・死産等に関する相談（再掲）

実人数 4人、延相談件数 4件

13 すくすく子育て応援事業

(1) 目的

核家族化が進み、地域のつながりも希薄となる中で、孤立感や不安感を抱く妊婦・子育て家庭も少なくない。全ての妊婦・子育て家庭が安心して出産・子育てができる環境を整えるために、伴走型相談支援の充実と経済的支援を一体型で実施する。

(2) 対象

全ての妊婦及び子育て家庭

(3) 実施内容

ア 伴走型相談支援（面談）

- ・妊娠届出時（転入者含む） 946名
- ・妊娠8か月時（アンケートを実施し希望者に面談を行う）
アンケート回答数：765名 うち相談希望者：128名

※随時の相談受付等を継続的に実施

イ 経済的支援

- ・妊娠届出面談後
（妊婦のための支援給付金（1回目）または出産応援給付金（たまごギフト））
50,000円支給 984名
- ・出産後助産師訪問等の面談後
（妊婦のための支援給付金（2回目）または子育て応援給付金（ひよこギフト））
50,000円支給 1,016名

(4) スタッフ

保健師、助産師

(5) 周知方法

ア 妊娠届出時に事業の説明を行い、案内文を配布

イ 小牧市妊産婦・乳児健康診査受診票に事業内容を掲載

ウ 出生届出時配布チラシに相談申込フォームを掲載

エ 小牧市ホームページに事業内容を掲載

1 4 こまき巡回バス「こまくる」マタニティフリーパス配布事業

(1) 目 的

妊産婦の「こまき巡回バス」の利用料を無料とすることで、妊産婦健診や乳児健診をはじめ様々な外出時の移動手段として活用してもらい、移動手段を持たない妊産婦だけでなく、全ての妊産婦の外出支援及び巡回バスの利用促進につなげる。

(2) 対 象

妊産婦

(3) 利用期限

妊娠届出時から出産予定日の1年後の月末まで（約22か月間）

(4) 配布方法

妊娠届出時及び転入時に子育て世代包括支援センターにて配布

(5) 利用方法

マタニティフリーパスを乗車（初乗り）時に提示して乗車する。

1日のうちで2回目以降に乗車する時は、こまくる利用券を提示して乗車する。

(6) 実 績

4,335回（200円/回）

1 5 初回産科受診料助成支援事業

(1) 目 的

低所得の妊婦の経済的負担軽減を図るとともに、当該妊婦の状況を継続的に把握し、必要な支援につなげることを目的とする。

(2) 対 象

- ・生活保護世帯及び非課税世帯に属する者
- ・上記以外に、市長が必要と認める者

(3) 受診項目

妊娠判定に要する問診及び診察、尿検査並びに超音波検査

(4) 助成方法

- ・事前相談による受診票の交付
- ・償還払い

(5) 実 績

16件 （再掲）受診票の交付3件、償還払い13件